

改善報告書

大学名称 青森公立大学 (大学評価実施年度 2018 (平成 30) 年度)

1. 大学評価後の改善に向けた全般的な取り組み状況

2019年3月12日に交付された認証評価結果を2018年度第6回理事会(2019年3月26日開催)で報告(資料1-1)。また、2019(平成31)年度から法人の年度計画内に改善課題に取り組む旨を掲載し、改善に取り組んだ(資料1-2、1-3、1-4)。

<根拠資料>

- 1-1 2018年度第6回理事会議事録(2019年3月26日開催)
- 1-2 平成31年度公立大学法人青森公立大学 年度計画【公表用】
- 1-3 令和2年度公立大学法人青森公立大学 年度計画【公表用】
- 1-4 令和3年度公立大学法人青森公立大学 年度計画【公表用】

2. 各提言の改善状況

(1) 是正勧告

該当なし

(2) 改善課題

No.	種 別	内 容
1	基準	基準 4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	1) 経営経済学部及び経営経済学研究科博士前期課程・博士後期課程では、教育課程の編成・実施方針に教育課程の編成及び実施に関する基本的な考え方を示していないため、学位授与方針の内容を具体的に反映するよう改善が求められる。
	大学評価時の状況	本学は教育課程の編成方針を教育課程の編成・実施方針として明記し、授業科目体系や編成方針を表や図で示していたが、学位授与方針に関連する教育課程の編成及び実施に関する基本的な考え方について具体的に明記されていなかった。
	大学評価後の改善状況	<p>教育課程の編成・実施方針の改善について、2021年度に教育課程の編成・実施方針の改善に着手し、2022年2月4日開催の学部長を議長とする2021年度第8回学務運営会議（資料2-(1)-1）において学位授与方針の内容を具体的に反映した教育課程の編成方針及び実施方針案を策定するとともに、各学科における育成する人材像に対応した学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針案を策定した。</p> <p>その後、2022年2月9日開催の2021年度第10回部局長会議（資料2-(1)-2）での審議・承認、2022年2月16日開催の2021年度第5回教育研究審議会（資料2-(1)-3）での審議・承認及び同日開催の2021年度第5回臨時学部教授会（資料2-81）-4）での意見聴取を経て決定し、2022年3月より大学公式ホームページ（資料2-(1)-5、2-(1)-6、2-(1)-7、2-(1)-8）等で公表した。</p> <p>なお公表においては、各学科の育成する人材像とカリキュラムの関連について、学生にわかりやすいように視覚化した授業科目編成表を併せて作成し公表（2-(1)-9、2-(1)-10、2-(1)-11）した。</p> <p>研究科においては、研究科長を議長とする2022年2月10日開催の2021年度第12回大学院運営会議（資料2-(1)-12）において検証及び学位授与方針の内容を具体的に反映した教育課程の編成及び実施に</p>

		<p>関する基本的考え方を明記した改善案を策定した。</p> <p>その後、2022年3月2日開催の2021年度第11回部局長会議（資料2-(1)-13）での審議・承認、2022年3月9日開催の2021年度第7回臨時教育研究審議会（資料2-(1)-14）での審議・承認、2022年3月22日開催の2021年度第5回研究科教授会（資料2-(1)-15）での意見聴取を経て決定し、2022年3月より大学公式ホームページ（資料2-(1)-16、2-(1)-17）等で公表した。</p>
	<p>「大学評価後の改善状況」の根拠資料</p>	<p>2-(1)-1 2021年度第8回学務運営会議会議内容報告書（2022年2月4日開催）</p> <p>2-(1)-2 2021年度第10回部局長会議次第（2022年2月9日開催）</p> <p>2-(2)-3 2021年度第5回教育研究審議会議事録（2022年2月16日開催）</p> <p>2-(2)-4 2021年度第5回臨時学部教授会議事録（2022年2月16日開催）</p> <p>2-(2)-5 青森公立大学公式ホームページ「経営経済学部の3つのポリシー」 https://www.nebuta.ac.jp/universityinformation/aokodai-education/3policies</p> <p>2-(2)-6 青森公立大学公式ホームページ 大学案内（経営学科） https://www.nebuta.ac.jp/university-information/department-of-business-administration</p> <p>2-(2)-7 青森公立大学公式ホームページ 大学案内（経済学科） https://www.nebuta.ac.jp/university-information/department-of-economics</p> <p>2-(2)-8 青森公立大学公式ホームページ 大学案内（地域みらい学科） https://www.nebuta.ac.jp/university-information/area-mirai-department</p>

		<p>2-(2)-9 青森公立大学公式ホームページ 科目編成表 (経営学科) https://www.nebuta.ac.jp/wp-content/uploads/2022/03/239cc44df1985da6433809dbcb2b0798.pdf</p> <p>2-(2)-10 青森公立大学公式ホームページ 科目編成表 (経済学科) https://www.nebuta.ac.jp/wp-content/uploads/2022/03/4707e2919af8f610081c9cf979afce42.pdf</p> <p>2-(2)-11 青森公立大学公式ホームページ 科目編成表 (地域みらい学科) https://www.nebuta.ac.jp/wp-content/uploads/2022/03/37ff7c6fda69bd84b5a03f0ec9b2a690.pdf</p> <p>2-(2)-12 2021 年度第 12 回大学院運営会議概要 (2022 年 2 月 10 日開催)</p> <p>2-(2)-13 2021 年度第 11 回部局長会議次第 (2022 年 3 月 2 日開催)</p> <p>2-(2)-14 2021 年度第 7 回臨時教育研究審議会 議事録 (2022 年 3 月 9 日開催)</p> <p>2-(2)-15 2021 年度第 5 回研究科教授会議事録 (2022 年 3 月 22 日開催)</p> <p>2-(2)-16 青森公立大学公式ホームページ 大学院教育課程 (博士前期 (修士) 課程) https://www.nebuta.ac.jp/university-information/grad-curriculum/grad-master-course</p> <p>2-(2)-17 青森公立大学公式ホームページ 大学院教育課程 (博士後期 (博士) 課程) https://www.nebuta.ac.jp/university-information/grad-curriculum/grad-doctor-course</p>
＜大学基準協会使用欄＞		
	検討所見	
	改善状況に関する評定	5 4 3 2 1

No.	種 別	内 容
	基準	基準4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	2) 経営経済学部において、GPAや卒業アンケート、資格試験の結果を用いて学習成果の測定に努めているが、これらを用いて、学位授与方針に示した学習成果を十分に把握できているとはいいがたいため、改善が求められる。
	大学評価時の状況	<p>本学は、GPA制度と特色ある本学独自の授業への取り組み、個々の学生の科目群ごとに、学習成果をグラフチャートで可視化するEPX(Education Performance index) システムを活用して、科目群ごとの学生の学習成果を多角的に捉えることにより学習成果を把握していたが、学位授与方針に示した学習成果との関係性が不明確であった。</p>
	大学評価後の改善状況	<p>2020年2月18日開催の2019年度第15回学務運営会議（資料2-(2)-1）において学部長よりEPXシステムの改善について提起され、教育課程の編成・実施方針と学位授与方針との関連性の明確化、教育課程の科目群編成との関連付けを整理するとともに、学科ごとに定めた育成する人材像を新たに学科ごとの学位授与方針と位置づけた。また、EPXシステムの評価項目を学科ごとの科目群編成と関連付けることで学位授与方針に示した学習成果を十分に把握できるよう改善に着手した。（資料2-(2)-2）。</p> <p>2021年度からGPA制度と併せて学生面談・指導等に活用している</p>
	「大学評価後の改善状況」の根拠資料	<p>2-(2)-1 2019年度第15回学務運営会議会議内容報告書（2020年2月18日開催）</p> <p>2-(2)-2 EPXシステム設定（「育成する人材像」と「科目」との関連、レーダーチャート例）</p>

	<大学基準協会使用欄>					
	検討所見					
	改善状況に関する評定	5	4	3	2	1

No.	種 別	内 容
3	基準	基準5 学生の受け入れ
	提言（全文）	1) 経営経済学研究科博士前期課程では、収容定員に対する在籍学生数比率について、0.38と低いため、大学院の定員管理を徹底するよう、改善することが求められる。
	大学評価時の状況	<p>当該評価の実地調査以前より大学内手続きとして、2018年9月14日開催の2018年度第5回部局長会議（資料2-(3)-1）において、博士前期課程の現行の入学定員8名（収容定員16名）を変更することが承認された。</p> <p>2018年9月18日開催の2018年度第6回大学院運営会議（資料2-(2)-2）において、博士前期課程の入学定員を変更することが審議され、最終的には入学定員4名（収容定員8名）にすることが決議された。</p> <p>その後、2018年9月19日開催の2018年度第3回教育研究審議会（資料2-(3)-3）での審議・承認、2018年9月26日及び10月31日開催の2018年度第3回大学院研究科教授会（資料2-(3)-4）及び2018年度第1回臨時研究科教授会（資料2-(3)-5）での意見聴取を経て、最終的には2018年12月20日開催の2018年度第2回理事会（資料2-(3)-6、2-(3)-7）で、入学定員4名（収容定員8名）に変更することが承認された。</p>
	大学評価後の改善状況	<p>文部科学省通知「私立大学等の学長決定及び公私立大学等の学則変更等届出等について」（平成28年12月27日28文科高第875号）により2019年（平成31年）3月28日に文部科学省へ届出（資料2-(3)-8、2-(3)-9）した。</p> <p>文部科学省への届出に基づき、2020年4月1日に入学する者から適用した（資料2-(3)-10）。</p> <p>2020年度以降、博士前期課程の在籍学生数比率（収容定員充足率）は、0.75（2020年度）、1.25（2021年度）、1.38（2022年度）と推移しており、改善の傾向が見られる。</p> <p>（資料 大学基礎データ）</p>

「大学評価後の改善状況」 の根拠資料	2-(3)-1 2018年度第5回部局長会議次第 (2018年9月14日開催) 2-(3)-2 2018年度大学院運営会議概要 (2018年9月18日開催) 2-(3)-3 2018年度第3回教育研究審議会議事録 (2018年9月19日開催) 2-(3)-4 2018年度第3回研究科教授会議事録 (2018年9月26日開催) 2-(3)-5 2018年度第1回臨時研究科教授会 議事録 (2018年10月31日開催) 2-(3)-6 2018年度第2回理事会議事録 (2018年12月20日開催) 2-(3)-7 青森公立大学大学院学則の変更につ いて (2018年度第2回理事会議案第8号 議案書) 2-(3)-8 青森公立大学大学院の学則の変更に ついて (届出) 2-(3)-9 青森公立大学大学院学則 2-(3)-10 2020年度青森公立大学大学院経営 経済学研究科 博士前期課程 (第 I 期募集) 募集要項 (2020年度入学者 用 抜粋)
< 大学基準協会使用欄 >	
検討所見	
改善状況に関する評定	5 4 3 2 1

No.	種 別	内 容
4	基準	基準6 教員・教員組織
	提言（全文）	1) 大学院として固有のFDが行われていないため、適切にこれを実施するよう改善が求められる。
	大学評価時の状況	学部と合同でのFDは実施していたが、大学院固有のFDは実施していなかった。
	大学評価後の改善状況	研究科長の提起により、当該評価の評価結果が公表される前に本学大学院固有の「大学院FD研修会」（資料2-(4)-1、2-(4)-2）を2019(平成31)年1月23日に実施した。 その後、毎年大学院固有のFD（資料2-(4)-3、2-(4)-4、2-(4)-5）を開催している。
	「大学評価後の改善状況」の根拠資料	2-(4)-1 大学院FD開催案内 （平成31年1月23日開催） 2-(4)-2 2018（平成31）年度大学院FD研修会次第（2019年1月23日開催） 2-(4)-3 2019年度第2回学部FD研修会及び大学院FD研修会等について （2020年3月6日開催） 2-(4)-4 2020年度第1回大学院FD研修会次第 （2021年2月17日開催） 2-(4)-5 2021年度第1回大学院FD研修会次第 （2022年3月4日開催）
	<大学基準協会使用欄>	
	検討所見	
改善状況に関する評定	5 4 3 2 1	

<大学基準協会使用欄>

【概評】

<改善に向けた大学全体の取り組み>

<是正勧告、改善課題の改善状況>